

大連東港



大連東港は、大連港の再開発によって誕生した中国東北地方を代表するウォーターフロントエリアです。ベネチアを思わせる街並みが広がる「東方水城」や、SNS で話題となった「港東五街」、近未来的な「国際会議センター」などを擁し、大連を代表する海浜観光エリアとして多くの観光客を集めています。

【大連国際会議センター】



貝殻を思わせる外観が特徴の東港エリアを代表するランドマークです。世界経済フォーラム夏季ダボス会議の開催会場としても知られ、大連を代表する現代建築の一つとなっています。

館内には 2026 年に正式オープンした「遼作館」があり、大連貝細工や阜新瑪瑙彫刻をはじめとする遼寧省各地の伝統工芸品を鑑賞することができます。

会議センター前には東港音楽噴水広場が広がり、夜には音楽と照明が連動した噴水ショーが開催されます。

なお、近くの大連老埠頭景区からは遊覧船（有料）に乗船でき海上から大連港周辺の

景色を楽しむことができます。

▼噴水ショー情報（2026 年 8 月現在）

毎晩 2 公演　[①19：40～・②20：40～]

※天候等の理由で公演が中止になることがあります。特に冬場の公園については事前に確認をお願いします。「大連東港公司」公式ウィーチャットアカウントでの確認が可能です。

交通アクセス（大連国際会議センター）

▼地下鉄

2 号線　会議センター駅下車　B 出口より徒歩 5 分

▼路線バス

13 路　会議センター停留所より徒歩 5 分

【東方水城】



イタリア・ベネチアをモデルに整備された、東港エリアを代表する観光スポットです。全長約 4 km の人工運河沿いにはヨーロッパ風の建物が立ち並び、まるで海外の街並みを歩いているかのような雰囲気を味わえます。

運河ではゴンドラ遊覧も行われており、水上から異国情緒あふれる景色を楽しむことができます。周辺にはレストランやカフェ、雑貨店などが充実しており、昼は開放的な港町の風景、夜はライトアップされた幻想的な街並みを満喫できます。特に夕暮れ時から夜にかけては、水面に映る灯りが美しく、多くのカメラ愛好家や観光客で賑わいます。

交通アクセス（東方水城）

▼地下鉄

2 号線　東港駅下車　D 出口より徒歩 10 分

▼路線バス

13 路　港東一街停留所より徒歩 3 分

【大連港東五街】



2024 年に SNS を中心に大きな話題となった人気撮影スポットです。坂道の先に黄海が広がる独特の地形により、道路がそのまま海へと続いているように見える景観で知られています。

さらに大型船が沖合を通過する際には、まるで道路の先を巨大な船が横切るかのような迫力ある光景を見ることができます。道路南側には展望スペースや撮影スポットも設けられています。大型船の通航時間帯には多くの観光客やカメラ愛好家が訪れ、東港エリアを代表するフォトスポットとなっています。大型船の通過時刻は変更が生じる可能性があります。訪問前にインターネットや SNS などを確認することをおすすめします。

周辺には 100 年以上の歴史を持つ有軌電車 201 路も運転されています。歴史ある路面電車と東港の伝統的な都市景観が共存する風景も、この地域ならではの魅力となっています。

交通アクセス（東港五街）

▼市内電車

201 路 華樂広場停留所より徒歩 30 分筋

なお、201 路(区間車)の海昌欣城停留所からもアクセスが可能です

※201 路(区間車)の運行は不定期です。

▼地下鉄

2 号線 東港駅下車 B 出口より徒歩 15 分

▼路線バス

529 路 東港五街より徒歩 2 分